

## 授業科目

## 計測工学

担当教員名 野城 真理 (非)	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

## 授業の概要

下記を中心に講義する。

1. 生体計測の基礎となる単位、誤差、雑音
2. 生体計測の特徴と雑音対策、生体計測装置の基本的構成、基礎的な生体信号処理
3. 生体計測に使用される電極と増幅器に関する基本的事項
4. 生体計測に使用される各種センサの基本原理

## 授業の目的

生体信号の測定と処理の基礎、各種センサの基本的な測定原理を理解する。

## 学習目標

1. 生体計測の基礎となる単位、誤差、雑音について説明できる。
2. 生体計測の特徴と雑音対策、生体計測装置の基本的構成、基礎的な生体信号処理について説明できる。
3. 生体計測に使用される電極と増幅器に関する基本的事項について説明できる。
4. 生体計測に使用される各種センサの基本原理について説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	単位と計測誤差	講義	野城 真理
2	正規分布、大数の法則、中心極限定理、相関分析、回帰分析	講義	野城 真理
3	生体計測の特徴と生体計測装置の構成	講義	野城 真理
4	電極と生体計測用増幅器	講義	野城 真理
5	雑音とその対策及び信号処理	講義	野城 真理
6	医用センサ：圧力センサ、距離センサ、温度センサ	講義	野城 真理
7	総合復習	講義	野城 真理
8	まとめ		野城 真理

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	臨床工学講座 生体計測装置学最新版	石原 謙 編集	医歯薬出版株式会社		4,600円+税	
参考書						
その他の資料	配布資料					

## 評価方法

期末試験100%

## 履修上の留意点

本科目は生体計測装置学の基礎となるので、予習と復習を行って、しっかり内容を理解して記憶すること。参考書である「医用工学概論」は1年次に購入したものを利用してください。

## オフィスアワー・連絡先

noshiromakoto@gmail.com